

香り豊か、優雅に咲き誇る…

“茨城県の県花”満開のバラ見頃です！

～西洋風ローズガーデン 秘密の花園へようこそ～



満開に咲くローズガーデンのバラ（手前の黄色はゴールドパニー、白はアイスバーグ） 2013年5月26日撮影

関東地方では早くも“梅雨入り”を迎えました。しっとりと恵みの雨が降る中、国営ひたち海浜公園の**バラが満開になり、見頃を迎えております。**園内ではローズガーデンを中心に約127品種、4,000株のバラをお楽しみいただくことができます。

周囲をウバメガシの高垣に囲まれた“ローズガーデン”は、「秘密の花園」といった趣を持つ西洋風の庭園で、当公園の人気スポットの一つとなっています。昨年からは西側の入口付近に、新しくトレリス（格子状の木製の柵）を設けて『つるバラ』を咲かせました。

バラ園に足を踏み入ると、甘い芳香とともに色鮮やかな光景が広がります。「花の女王」と呼ばれるのにふさわしい大輪のバラや愛らしいミニバラなど、その種類の多さに驚くとともに個性的な花姿に魅入られます。**今年のバラは肥料や剪定などに工夫を凝らし、花ひとつひとつが大きく育っているのが特徴です。**数あるバラの中から好みの“色”や“香り”のバラを探してみてくださいはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報担当 平田・服部・田中^{やすし}（柔）

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001（報道関係者の方は029-265-9004・9005迄） FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

バラ

バラ科バラ属 落葉低木
原産地：北半球の亜熱帯から熱帯



アンリ・マチス 2013年5月28日撮影

現在、園芸品種は3万種以上とされていますが、その元となったのは約120種ある野生種のうちわずか8種類とされています。品種改良の積み重ねによって、現在のさまざまなバラを楽しめるようになりました。

バラは、品種によっては毎年、初夏（例年5月下旬頃開花）と秋（例年10月上旬頃開花）の2シーズン楽しむことができます。

【茨城県の県花 バラ】

茨城県の県名は、県成立時に県庁所在地が置かれた場所（水戸）の郡名が茨城郡であったことに由来しています。そして「茨城」の名が「常陸國風土記」の茨城郡条に記述された故事で、黒坂命くろさかのみことが茨（いばら）で城を築き、賊を退治した説話に由来していることから、県花は「バラ」と定められました。

公園の主役は「モダンローズ」

野生のバラは花びらが5枚だけなのをご存じですか？品種改良を進めるうちに花びらが5枚で春にしか花が咲かない一季咲きの野生種「ワイルドローズ」から、香りがよく優雅な花姿をした「オールドローズ」が生まれ、さらに先が尖った多彩な花びらを持ち、春から秋まで花を咲かせる四季咲きの「モダンローズ」が生まれました。1867年に作出された完全四季咲きの「ラ・フランス」がモダンローズの第一号品種です。

「ラ・フランス」はハイブリッド・ティーという系統名を与えられそれ以降盛んにこの系統のバラが作り出されました。

近年では、「オールドローズ」と「モダンローズ」両方の特性を併せ持った「イングリッシュローズ」という新しいバラも誕生し、注目を集めています。

＜ワイルドローズ＞
5枚の花びらを持ち、実にシンプルです。



ノイバラ
園内各所に自生

＜オールドローズ＞
花の形が優雅で、豊かな香りをもつ品種が多いです。



バイオレット
香りの谷に植栽

＜モダンローズ＞
花びらの先が剣先のように尖っています。



※写真はマリアカラスローズガーデンなどで植栽

モダンローズの系統…

樹形と花の大きさから次のような系統に分類されます。公園のローズガーデンで見ることができます。



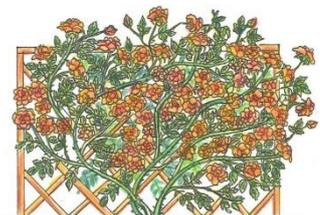
●HT：ハイブリッド・ティー系
樹高は100～180cm程度です。花が大輪で、基本1茎に1花がつけます。



●Fl：フロリバンダ系
樹高は80～120cm程度です。花が中輪で、1茎にたくさんの花がつけます。



●Min：ミニチュア系
樹高が20～50cm程度と小さく花壇の前面、縁取り、鉢植えに向いています。



●Cl：クライミング系(つるバラ)
つる性の系統です。垣根やアーチなどに用いられます。



●S：シュラブ系(半つるバラ)
つるバラほどではないですが、少し枝を伸ばし枝がややカーブする系統です。

●Land(Landscape)：修景バラ
多くがシュラブ系で、手入れが少なくても丈夫に育ち、公園や道路際などの植え込みに向く品種群です。

◆ひたち海浜公園のローズガーデン

ローズガーデンは平成3年10月の本公園のオープンより、数多くのお客様にお楽しみいただいています。海からの強い風からバラを守るため、周囲はウバメガシの高垣で囲われています。また、ガーデン全体はアーチや噴水のある西洋庭園風となっていて、花壇はシンメトリー（左右対称）にデザインされています。



ローズテラスから見下ろしたガーデン



ウバメガシの垣根

暖地の海岸沿いの山地に多い常緑低木。高垣で覆われていて、遮断された空間。



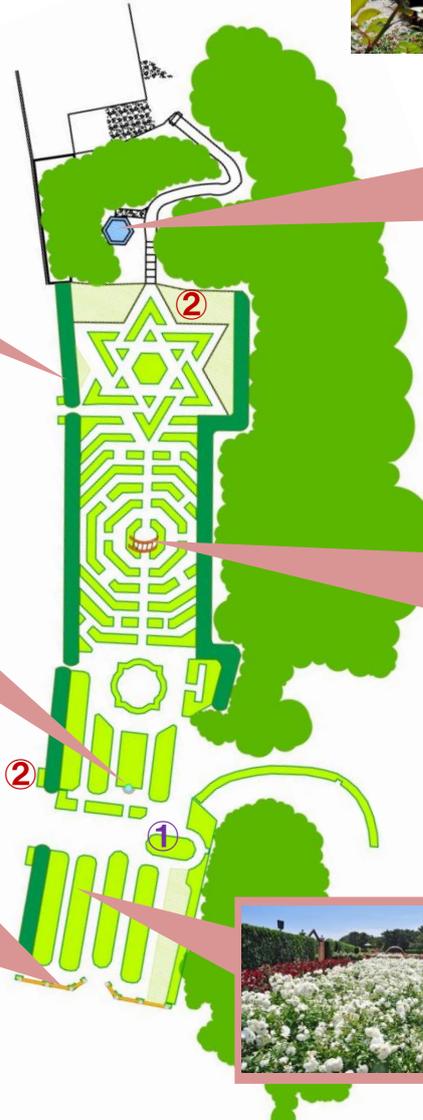
水盤と小噴水

趣のある演出。散った花弁が水面に浮いていることもあります。



トレリス

昨年初めて設置。『つるバラ』たちがつるを這わせ始めています。



ローズテラス

ガーデン全体を眺めることのできる“あずまや”。バラを見ながらの小休憩をどうぞ。



アーチ

青リンゴの香りがする“フランソワ・ジュランヴィル”というピンクの可愛らしい花がアーチを覆っています。



つくば万博からやってきたバラ

“アイスバーグ”と“ラーバグルト”、数十年経った今も可憐に咲いています。

今年のバラは…

生育がよくなるように肥料や剪定方法を工夫した結果、今年のバラは一つ一つの花が大きく育ちました。



バラは色も香りも形も様々



「ブルーバュー」
通称“青バラ”。バラは青系の色を出すのが難しいため、珍しいとお客様に大人気です。

※図の①の位置に咲いています。



「パパメイアン」
黒バラの銘花。ピロードがかかる黒赤のバラ。ダマスク・モダンの強く濃厚な香りが特徴です。

※図の②の位置に咲いています。



ローズテラスから見たローズガーデン
2013年5月28日撮影